



ピーマンの選果作業の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

るもい農福連携推進協議会

【留萌市】

障がい者の活躍する場を農業で増やす

はじめは？

新規就農者をはじめとした地域農業の労働力不足の解消と、農業生産現場における障がい者の就労機会の創出に向け、平成29年5月に設立しました。

地域での障がい者等の就労支援体制の構築や、就労をサポートするための人材の確保、育成を図りながら、農業者と福祉関連事業者など、地域内外との様々な交流活動を通じて、就労意欲の向上と地域農業・食の発信、消費者・都市住民や地域住民との顔の見える交流活動を推進し、農村地域の再生と持続的な発展、新たな産業形成と基盤の強化を図ることを目的としています。

おもな活動

農業者、特に新規就農者は労働力が不足してしまうため、労働力の確保及び定着支援として、障がい者による作業支援を行い、労働力の確保を行っています。

また、農家と障がい者の間に入って活動を行う農作業サポーターを育成しており、農家と障がい者の関わりが円滑に行われるための橋渡し役的な役割を担っています。

現在、農福連携の活動では様々な人が参加しており、農福連携の活動が農業者や障がい者に重荷にならない様な取り組みを行っています。



大根収穫の様子

ここが自慢

【年間を通して仕事がある】

障がい者にとって、夏場はピーマンの選果や花の芽摘み、秋から冬にかけては切り干し大根作りに向けた大根の収穫や加工作業、そして、ハウス内での水耕栽培など1年を通して仕事があることから、外に出て仕事ができる喜びや、作業所以外で仕事をする事で賃金の上乗せにもなることから、仕事に対する意欲が出てきています。

また、新規就農者にとっても、切り干し大根の原料となる大根の栽培などにより収入の確保にもつながっていることから、とっても良い状況になりつつあります。



大根加工作業の様子

連絡先

代表者名：野原 守さん／設立：2017年／会員：8名

住所：留萌市幌糠町1862番地1
留萌市幌糠農業・農村支援センター

電話番号：0164-46-1156

F A X：0164-46-1156

E-mail：-

U R L：-